

第41回 宮島全国短歌大会を開催いたしました

去る10月26日(日)、「etto宮島交流館」において『第41回 宮島全国短歌大会』を開催いたしました。

前日の時点では大会当日は雨予報であったため、今年は雨の中での開催となることを覚悟しておりましたが、当日になると幸運なことに予報が変わっており、曇りから晴れ間も見えるほどの心地よい天気の中での開催となりました。

当日は約50名の方々に御来場いただき、中には他県から遠路はるばるお越しいただいた参加者の方も見受けられ、多くの方々にご出席いただき感謝申し上げます。

午前の部では、今大会の講師 阿木津 英 先生より「歌と作る人」と題してご講演いただき、午後の部では、事前にご投稿いただいた593首の中から「特別賞 16点」「優秀賞 15点」さらに「選外佳作 30点」を阿木津先生に選んでいただき、選歌講評を行っていただきました(選外佳作については当日参加者の作品のみ)。

阿木津先生におかれましては、歌人として多数の歌集を編まれていることは皆様ご承知の通りでございます。現在は結社「八雁」の主宰として選歌・編集に努められており、さらに積み上げられた知見を持って各地への執筆活動などで活躍されております。今回の本大会においては、阿木津先生の奥深い考察にわかりやすい例えを交えて講演をしていただき、とても和やかに進行しました。講評後は入選された出席者への表彰を行い、大会は盛会の内に終了いたしました。

年々、短歌愛好者の平均年齢が上昇する中、かくも多数のご投稿・ご出席を賜りました事、深く御礼申し上げますと共に本大会の開催に絶大なるご支援を賜りました広島県・山口県の歌人協会をはじめとする各短歌結社と関係諸機関の皆様方に実行委員一同厚く御礼申し上げます。

宮島全国短歌大会実行委員会



当日は多くのお客様にお越しいただきました。



阿木津先生の講演



表彰式の模様



先生と受賞者の皆様の記念撮影



入選作品を記した色紙31点は11月9日(日)まで
厳島神社西廻廊に展示しております。